
願い屋

神崎 零

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

願い屋

【Nコード】

N1898B

【作者名】

神崎 零

【あらすじ】

あなたは知っていますか？何でも願いが叶うお店…。そんなお店があれば是非一度は行ってみたいでしょう。しかし願いを叶えるなら何かの代償が必要です。あなたの願いは本当に必要な事なのか？興味本意で願いを叶える物ではありません…。よく考えて願いを言うてください。これからお話するのは今までに來られた人たちのお話です。

プロローグ（前書き）

よければ感想をお願いします。

プロローグ

あなたは知っていますか？どんな願いも叶えてくれるお店…自分が叶えたいことなら何でも叶えてくれるそんなお店。その名前は…。

P M 18:16

ある女子高生の帰り道

「美穂知ってる？あの『噂』」

笑いながら話しかけている。

「あああれでしょう？？どんな願いも叶えてくれるお店…！そんなお店あったら私…〇〇先輩と付き合いたい！！それでね、あとお」

目をキラキラさせながら自分の願いを話している。

「ハイハイ…あなたの願いは分かったらちよつと黙って話がかなりずれてきてるよ！ハア…話戻すよ！けどその願いを叶えるのは確に凄いと思うよ！けどね何の対価もなく叶えてくれるなんておかしいよ…！」

と不思議そうに話しているのに美穂は話を聞かず、

「もお…夢がないなあ！願いを叶えてくれるなら何だって対価を払うよ」。

まだ目をキラキラさせながら自分の願いをはなしている…。

「美穂あなたってホントに楽天的な性格ね…羨ましいわ」

そんな何気無い女子高生の噂話だった…。果たしてその噂は本当に

あるのだろうか…。

プロローグ（後書き）

お読み頂きありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1898b/>

願い屋

2010年10月17日08時00分発行